

事業所名 放課後等デイサービスA0

支援プログラム

作成日 令和7年9月1日

法人（事業所）理念		障がいの有無に関わらず一人ひとりの可能性を大切に、すべての子どもが自分らしく生きられる共生社会の実現を目指します。・地域の一員として、子ども・家庭・地域・関係機関と連携しながら「共に育ち、共に学び、共に生きる」場づくりを行います。・信頼関係に基づいた支援、子どもたちの成長を第一に考え、職員一同が一丸となって質の高い支援の提供に努めます。・子どもたちが安心して過ごせる居場所でありながら、地域と共に育ち合う場として機能し、誰もが支え合える社会の実現を目指します。		
支援方針		放課後等デイサービスA0は、一人ひとりの「できた!」を大切に、自己肯定感と社会性を育む支援を行います。安心できる関係の中で、子どもたちが自分らしく成長できるようにサポートします。五領域（健康・生活/運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性）に基づいた活動を通じて、楽しみながら学べる環境を整えています。また、保護者や学校、地域と連携し、子どもたちが地域の中で自然に育っているよう共に支えていきます。		
営業時間		平日、土曜日 午前10:00～午後6:00	送迎実施の有無 あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	生活の基礎を楽しく学び、安心して過ごせる力を育てます。 ①あいさつ、手洗い、身の回りの整理整頓など、日常生活の基本動作を習慣づけます。②安全に過ごすためのルールや、集団生活でのマナーを遊びや活動の中で伝えます。③自分の気持ちを伝える方法や、リラックスのしかたも一緒に考えます。		
	運動・感覚	楽しく体を動かしながら、バランス感覚や運動能力、感覚の統合を育みます。 ①リズム遊び、サーキット運動、トランポリンなど、楽しみながらできる運動プログラムを用意しています。②個別の発達段階に応じて、運動の「できた!」を積み重ね、自信につなげます。③感覚の感受性や鈍さに配慮し、一人ひとりに合った関わりを大切にします。		
	認知・行動	考える力、見通す力、集中する力を遊びの中で育てます。 ①パズルやカードゲーム、ルールのある遊びなどを通して、記憶力・注意力・問題解決力を養います。②活動前の見通し、活動後の振り返りを行い、考える習慣を身につけます。③「落ち着いて行動する」「順番を守る」など、状況に合った行動を学びます。		
	言語コミュニケーション	言葉で伝える喜びや、人とつながる楽しさを大切にします。 ①絵カードやジェスチャーを取り入れた活動で、気持ちや考えを伝える練習をします。②しりとりや言葉カード、ごっこあそびなどを通して、語彙や表現力を楽しく身につけます。③相手の話を聞く・待つ・返す、といったやりとりを楽しみながら学べるよう工夫しています。		
	人間関係社会性	友だちとの関わりを通じて、「いっしょって楽しい!」を体感します。 ①SST（ソーシャルスキルトレーニング）や協力ゲームで、思いやりや協調性を学びます。②遊びや集団活動の中で、自分の気持ちも相手の気持ちも大切にすることを学びます。③地域の行事や異年齢交流などを通じて、広い社会とのつながりも育てます。		
家族支援		①情報共有・信頼関係づくり （・活動報告や日々のやりとりを通じて、保護者と共有 ・小さな変化や成長も丁寧にフィードバック） ②保護者面談・個別支援 （・面談を通じて悩みや不安に寄り添う ・必要に応じて制度・進路などの情報提供も実施） ③家庭との連携 （・家庭での関わりアドバイスを提案 ・支援の内容や目標は、ご家庭と相談しながら作成） ④家族全体へのサポート （・保護者同士の交流会や学びの機会を提供 ・家庭全体に寄り添った関係づくりを大切に）	移行支援	①新しい環境への心の準備 （ロールプレイやごっこ遊びなどを通して、学校や新しい場所での過ごし方を具体的にイメージしやすくします） ②生活スキルの習得 （時間管理や持ち物準備、移動の練習など、日常生活に必要な力を少しずつ育てます） ③社会性や対人スキルの強化 （SSTや集団活動を通して、新しい人間関係の中でも安心して過ごせる力を伸ばします） ④保護者への相談支援 （進路や制度に関する情報提供、個別相談、関係機関との連携なども行い、安心して進路選択ができるようサポートします） ⑤学校・関係機関との連携 （必要に応じて、支援会議や引き継ぎの場に参加し、情報共有や支援の継続性に配慮します）
地域支援・地域連携		①地域資源の活用 （・公園や図書館、児童館など地域施設を利用した外出活動を実施） ②地域行事・交流への参加 （・地元のイベントや学校行事などに参加し、地域との交流を促進） ③関係機関連携 （・学校・相談支援・医療等と連携し、情報共有や支援を実施） ④地域福祉への貢献 （・見学受け入れや活動紹介により、地域理解と連携を促進） ※地域資源を活かした支援を継続し、連携体制の強化に努める	職員の質の向上	①研修の実施 ・年間計画に基づく内部研修を実施（虐待防止・障がい特性など） ・外部研修への参加も推奨し、専門知識の習得を図る ②OJT・支援の振り返り ・毎日の支援後にミーティングを行い、課題や対応を共有 ・経験年数に応じたOJT体制で実践力を強化 ③面談と個別フォロー ・年1回以上の職員面談で業務状況や目標を確認 ・個々の強みを活かした育成支援を実施 ④チーム体制の整備 ・支援会議やケース検討で連携・共通理解を深める ・マニュアルやヒヤリハット共有により支援の質を維持 ※外部機関との連携も視野に、継続的な学習環境を整備
主な行事等		季節行事（・春の遠足 ・七夕制作・夏祭り ・地域交流活動（敬老の日） ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会）など ・防災・避難訓練（地震津波、火災、不審者対応） ・交通安全を学ぶ活動		